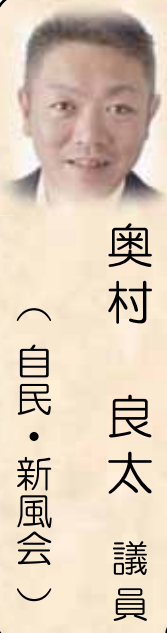


地方創生 市内業者へ発注を 活性化



奥村 良太 議員 (自民・新風会)

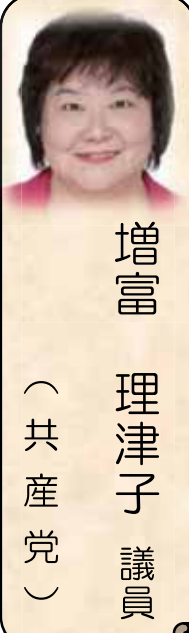


天津神川の下を通るJR学研都市線

本市でも地方創生、地域の活性化にさまざまな取り組みがなされているが、長引く不況で市内業者には非常に厳しい状況が続いている。市が発注する物品購入や役務提供工事請負において、適正な競争原理のもとに公平性を確保した上で、市内業者が発注することにより、市の財源が地元で循環し、地域経済の活性化と市内業者の育成に繋がることを考えるが、市の見解は、

府が実施する天津神川の耐震工事に合わせて、新地区と田辺地区をつなぐ歩行者用トンネルを設置できないか。天津神川の西側に居住されている方は、駅周辺へ出るのに不便である。これを改善するため、JR学研都市線が通っている踏切付近にトンネルを設置できれば、高齢化する中で住みよいまちづくりになると考えるが、市の見解は、

子どもの貧困対策の強化を



増富 理津子 議員 (共産党)

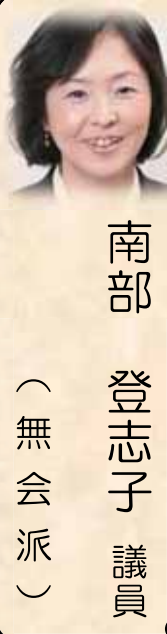


キララ商店街の空き店舗で行われている学習支援事業

厚労省が発表した子どもの貧困率は、16.3%と最悪を記録。ひとり親家庭や生活保護世帯、非正規労働者世帯への就労支援、経済的支援、学習支援の取り組み強化を、

の貸与(または給付)制度が優先される。実態に即して生活用具や補給品給付の助成拡充を、また生活保護世帯に対しても同様の対応をすべき。

打田のダンプ急増対策を



南部 登志子 議員 (無党派)

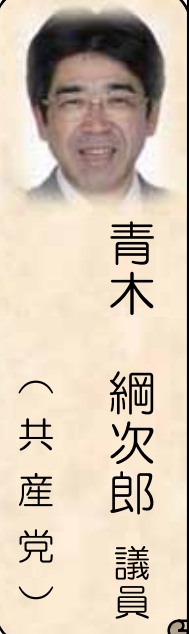


集落内の狭い道路を道いばいに通行するダンプ(打田地区)

普賢寺地域の課題について。打田地区では、ダンプの通行量が1日200台以上と急増しており、その数は今後も増加すると予測される。騒音や振動による生活被害が開始している現在、市が工事施行者等に安全運転を求めるべき。また、県境で急増する工事への対策を求める。

者である奈良県に状況を伝える。また、今後も状況を注視していく。既存の補助金で整地等の支援をしている。

JR大住駅にエレベーターを



青木 綱次郎 議員 (共産党)



市街化区域編入が計画されている松井地区の一部

安閑連運法案は憲法違反という指摘への見解は、(市長)さまざまな意見があり、関心も高い。憲法はしっかりと尊重する。安全保障と憲法はまた違うことと考える。

家組合へ説明してきた。周辺環境に配慮し、地区計画作成にも多くの市民から意見を聞く。具体的建設計画は開発行為手続条例に基づき、住民説明するよう事業者を指導する。